



# にぎわい創出イベント等支援事業 募集開始します！

「にぎわい創出イベント等支援事業」は、町内の産業団体青年・女性部や様々な実行委員会が行うイベント・ミニフェスなどの開催費用の一部を支援する助成制度です。

「にぎわい」をつくり、まちを盛り上げるイベントの企画・開催をお待ちしています。

## 1. 助成対象事業

### 【単独イベント助成】

- ・助成金額 1事業あたり最大30万円
- ・対象者 ①産業団体青年女性組織やユースまちづくり委員会  
②各種イベント実行委員会(既存・新規)
- ・助成率 対象者① 対象経費の2/3  
対象者② 対象経費の1/2

## 2. 対象経費等

- ・自らの飲食や資産になるもの以外で、イベント開催に直接関係するもの。  
申請方法なども含め、詳しくは商工観光課までご相談ください。
- ・イベント例：フリーマーケット、キッチンカー<sup>しょうへい</sup>招聘イベント、食のフェス、音楽フェス等

☎ 商工観光課 商工労政係 ☎ 0152-26-8375

## 墓地管理料 納付書用封筒裏面の企業広告募集

町内墓地区画を使用されている方々に送付する、墓地管理料納付書用封筒に有料の広告枠を設けています。  
墓地区画を使用されている町外者・町内者に広告をお考えの場合には、ぜひご検討ください。

☎ 環境課 生活環境係 ☎ 0152-26-8217

河合 洋平 44歳	堀田あき子 94歳	渡辺 悦子 82歳	音無 静子 74歳	大野美津江 93歳	眞壁 康一 82歳	佐々木 武 88歳	谷田 勝 87歳	武田 敏和 77歳	田原 映子 89歳	羽田野晴雄 89歳	関 倅子 92歳	石下 孝行 71歳	長谷川日和 豊里 2/14	鈴木 知希 美里 2/14	澤田 樹輝 悠香 2/13	工藤 蓮 康輝 愛南 2/11	三浦 羽珠 拓哉 2/2	誕生おめでとう	菅原 政毅 豊倉 2/3	結婚おめでとう	
港西町 2/28	光陽町 2/20	青葉町 2/19	青葉町 2/19	青葉町 2/17	以内科北 2/15	中斜里 2/15	新光町 2/10	光陽町 2/10	朝日町 2/9	西町 2/8	港西町 2/2	青葉町 2/1									

<p>人の動き</p> <p>■ 人口/10,656人(-16人) 男:5,243人(-14人) 女:5,413人(-2人)</p> <p>■ 世帯/5,445世帯(+3世帯)</p>	<p>ふるさと納税実績</p> <p>● 件数 405件</p> <p>● 寄付金額 6,268,000円</p>	<p>参加状況</p> <p>● 参加者 19人(件)</p> <p>● 寄付金額 109,000円</p>
--	---	--



# まち発見レポート

斜里のまちで見つけた「発見」をご紹介します。  
また、みなさんからも情報を募集しております。  
☎ 企画総務課 企画係 ☎ 0152-23-3131 内線 214

## ウ ナベツスキー場まつり2024開催！

2月12日(月)、斜里スキー協会と知床斜里町観光協会の共催で「第2回ウナベツスキー場まつり2024」が開催されました。今年は約350名が参加し、スノーフラッグ・ソリ滑り競技などのゲームや、餅&お菓子まき・町内事業者協賛による豪華景品に大盛り上がり。

参加者からは「初めてウナベツスキー場に来た」「今度はスキー、スノーボードをしに来たい」などの声もあがり、ウナベツスキー場を多くの方に知っていただけたイベントとなりました。



ウナベツスキー場まつりの様子



竹富町歓迎交流会の様子

## 竹 富町民号が来町しました！

2月13日(火)～17日(土)の5日間、姉妹町盟約50周年を記念して竹富町から町民号の32名が来町しました。14日に行われた竹富町歓迎交流会では、児童交流で1月に竹富町を訪れた斜里サッカースポーツ少年団による合唱や、しれとこ美ら三線クラブによる歓迎演奏などのもてなしが行われると、竹富町民号参加者の皆さんも急遽演奏に参加する一幕も。

その後、町民号は町内観光地などを巡り、冬の知床を満喫しました。

## 新 1年生へ 入学祝いのプレゼント

4月に新しく小学1年生になる62名の皆さんへ、コープさっぽろから『トドック（コープさっぽろのオリジナルキャラクター）』が描かれたランドセルカバーを寄贈していただきました。斜里町への寄贈は平成24年度から13回目となり、岡田教育長は「毎年寄贈いただき感謝している。未来を担う子ども達を守るために、有効に活用していきたい」と述べました。

この度の寄贈、誠にありがとうございました。



ランドセルカバー寄贈式の様子





竹富町・斜里町児童交流事業

## 絆をつなぐ未来への一歩

**初めての雪遊びや  
斜里町の文化を体験**

昨年、姉妹町盟約50周年を迎えたことを記念して、2月15日(休)～19日(月)の5日間、竹富町の小学6年生の児童11名が来町しました。

滞在中は、斜里サッカー少年団や朝日小学校の子どもたち、榎佐野自動車工業やスキー場の皆さんなど地域の人々からの温かいおもてなしを受けたほか、雪遊びや流氷ウォークなどのアクティビティも体験。

子どもたちは、顔や髪が雪まみれになりながらも「とても楽しい」「ずっと遊んでいたい」と初めて見る雪に感激し、冬の知床を思う存分楽しみました。

その他、知床博物館では斜里町の文化に興味津々で、身を乗り出し目を輝かせながら、斜里町の歴史に想いを馳せました。

竹富町の子どもたちが斜里町での経験を、斜里町の子どもたちが竹富町での経験を胸に刻みこみ、家族や友人に分ち合うことで、両町の友情の絆がより一層深まり、未来の世代へその想いを繋いでいく。

その繋がりによって、姉妹町の絆はこれから先、100年、200年と続いていくことでしょう。